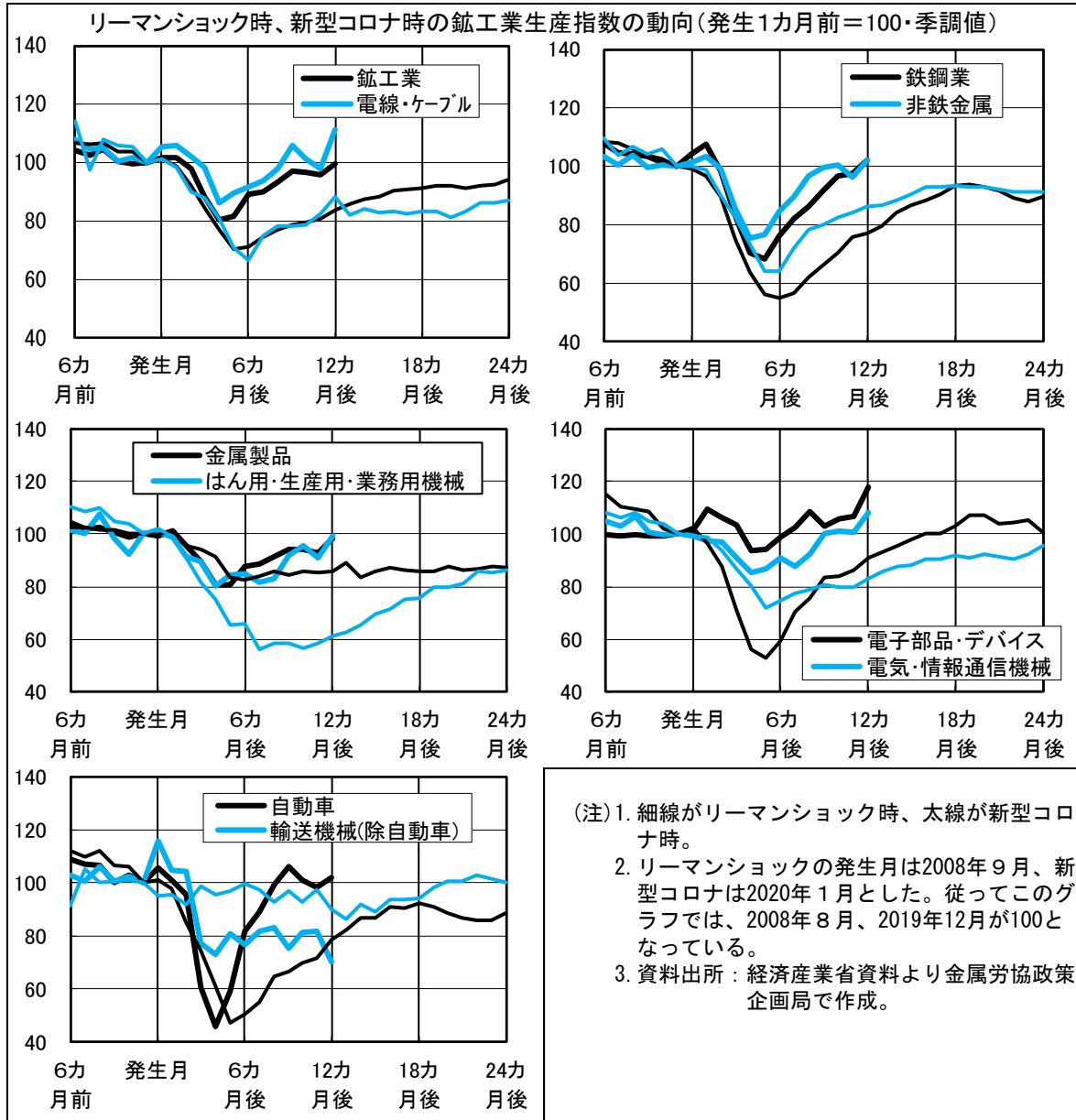


## 2021年闘争関連経済諸指標（その3）

2021年3月1日 金属労協政策企画局

\* 鉱工業生産指数は、2020年末にやや低下していたが、2021年1月には総じて回復してきており、金属産業では、コロナ発生前の水準となっている産業が多くなっている。



\* 小売業販売額は、2021年1月には減少が続いているものの、自動車小売業、機械器具小売業は好調に推移している。

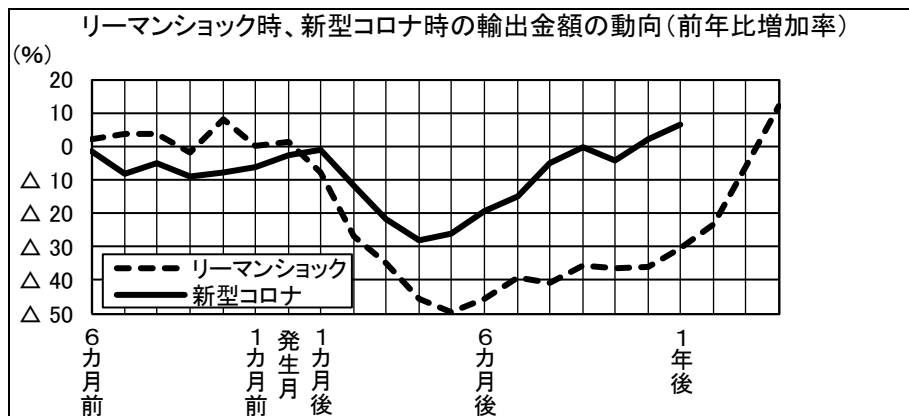
小売業販売額指数の推移（季調値）

(2015年=100)

年・月	小 売 業							
	各種商品 小売業	織物・衣服・ 身の回り品 小売業	飲食料品 小売業	自動車 小売業	機械器具 小売業	燃料 小売業	医薬品・化粧品 小売業を含むそ の他小売業	
2018年	103.1	94.9	102.5	103.3	107.6	102.7	110.4	103.1
2019	103.1	92.2	102.1	103.7	108.5	104.7	107.5	103.9
2020	99.7	77.8	85.0	105.1	99.0	107.5	97.4	104.4
2020年1月	102.6	88.9	101.4	103.8	107.9	101.8	108.4	104.5
2	103.1	84.7	96.4	104.3	109.5	105.1	112.1	104.4
3	98.4	74.4	79.9	103.8	106.0	99.9	101.6	101.4
4	88.7	53.3	47.6	105.0	80.8	91.7	86.8	98.7
5	90.4	59.0	65.9	105.1	71.8	96.8	79.2	97.7
6	102.2	83.9	99.7	107.8	87.9	128.3	91.5	107.7
7	98.7	79.5	78.8	105.1	94.2	103.1	93.0	104.5
8	103.2	81.3	83.8	105.9	98.5	112.3	98.8	107.6
9	103.1	82.7	81.2	107.3	104.0	110.7	103.1	109.0
10	103.6	82.1	94.5	105.6	106.7	109.4	99.5	108.4
11	101.4	79.0	93.0	104.0	105.9	117.3	93.1	105.6
12	100.7	81.7	98.4	103.3	110.2	114.5	97.9	103.4
2021年1月	100.2	73.1	80.7	102.7	115.8	110.9	99.5	100.6

資料出所：経済産業省「商業動態統計」

\* 輸出金額は、2020年12月以降、前年比プラスに転じているが、中国向けが中心となっている。



(注) 1. リーマンショックの発生月は2008年9月、新型コロナは2020年1月とした。  
2. 資料出所：財務省「貿易統計」より金属労協政策企画局で作成。

輸出先別の輸出動向（前年比増減率）

(%)

年・月	輸 出 金 額					輸 出 数 量				
	世 界	米 国	E U	ア ジ ア	う ち 中 国	世 界	米 国	E U	ア ジ ア	う ち 中 国
2018年	4.1	2.4	7.8	4.2	6.8	1.7	3.7	4.0	0.6	2.7
2019	△ 5.6	△ 1.4	△ 3.0	△ 7.6	△ 7.6	△ 4.3	△ 0.5	△ 2.1	△ 6.1	△ 7.5
2020	△ 11.1	△ 17.3	△ 15.1	△ 5.1	2.7	△ 11.8	△ 18.2	△ 20.8	△ 6.1	4.6
2020年1月	△ 2.6	△ 7.7	△ 6.5	△ 3.2	△ 6.4	△ 1.6	△ 8.9	△ 9.1	△ 1.5	△ 4.8
2	△ 1.0	△ 2.6	△ 7.7	1.7	△ 0.4	△ 2.4	△ 4.5	△ 9.7	△ 0.9	△ 2.6
3	△ 11.7	△ 16.5	△ 11.1	△ 9.4	△ 8.7	△ 11.2	△ 15.9	△ 9.1	△ 10.5	△ 10.3
4	△ 21.9	△ 37.8	△ 28.0	△ 11.3	△ 4.0	△ 21.3	△ 36.9	△ 27.7	△ 11.8	△ 2.2
5	△ 28.3	△ 50.6	△ 33.8	△ 12.0	△ 1.9	△ 27.3	△ 49.4	△ 34.8	△ 11.4	△ 0.4
6	△ 26.2	△ 46.6	△ 28.4	△ 15.3	△ 0.2	△ 26.9	△ 47.0	△ 33.0	△ 17.7	△ 2.0
7	△ 19.2	△ 19.5	△ 30.5	△ 8.2	8.2	△ 21.9	△ 21.5	△ 36.7	△ 11.3	8.5
8	△ 14.8	△ 21.3	△ 19.2	△ 7.8	5.1	△ 14.9	△ 20.1	△ 27.5	△ 7.3	7.7
9	△ 4.9	0.6	△ 10.6	△ 2.0	14.0	△ 7.7	△ 6.1	△ 23.3	△ 3.7	15.8
10	△ 0.2	2.5	△ 2.6	4.4	10.2	△ 1.6	0.8	△ 10.9	2.8	15.5
11	△ 4.2	△ 2.5	△ 2.6	△ 4.3	3.8	△ 4.0	△ 2.6	△ 9.8	△ 4.5	11.2
12	2.0	△ 0.7	△ 1.6	6.1	10.2	△ 0.1	△ 3.4	△ 18.4	5.2	15.3
2021年1月	6.4	△ 4.8	△ 1.6	19.4	37.5	5.3	△ 8.7	△ 26.1	18.4	44.8

(注) 1. 指数から算出した前年比増減率。  
2. 資料出所：財務省

産業別輸出金額の動向（前年比増加率）

(%)

年・月	輸出計	鉄鋼	非鉄金属	金属製品	一般機械	電気機器	自動車等	輸送用機器 (自動車等除く)
2018年	4.1	4.8	8.5	6.2	5.2	3.3	3.7	2.3
2019	△ 5.6	△ 10.7	△ 9.6	△ 6.6	△ 8.4	△ 6.6	△ 4.8	1.6
2020	△ 11.1	△ 16.3	16.2	△ 14.3	△ 13.1	△ 2.9	△ 19.7	△ 23.7
2020年 1月	△ 2.6	△ 4.0	14.1	△ 3.2	△ 9.5	△ 1.1	△ 4.2	11.4
2	△ 1.0	8.9	22.0	△ 3.5	△ 8.8	9.8	△ 3.7	△ 6.4
3	△ 11.7	7.3	5.1	△ 13.2	△ 17.9	△ 3.5	△ 14.0	△ 40.1
4	△ 21.9	△ 9.9	△ 4.2	△ 22.2	△ 23.2	△ 8.8	△ 47.8	△ 27.0
5	△ 28.3	△ 27.6	△ 5.9	△ 26.8	△ 23.2	△ 13.7	△ 67.1	△ 42.0
6	△ 26.2	△ 26.6	3.2	△ 35.4	△ 24.5	△ 18.5	△ 50.4	32.3
7	△ 19.2	△ 32.0	17.2	△ 28.1	△ 17.7	△ 7.8	△ 30.5	△ 49.0
8	△ 14.8	△ 27.4	30.2	△ 21.7	△ 16.8	△ 5.5	△ 19.7	△ 44.6
9	△ 4.9	△ 29.1	41.2	△ 12.0	△ 7.8	1.0	△ 2.3	△ 40.5
10	△ 0.2	△ 20.4	32.3	1.7	△ 2.8	4.6	2.8	△ 31.1
11	△ 4.2	△ 18.5	14.8	△ 9.6	△ 3.0	1.0	△ 3.2	△ 16.7
12	2.0	△ 11.8	23.2	4.3	0.3	6.6	△ 2.6	△ 3.0
2021年 1月	6.4	△ 8.3	31.1	13.4	12.5	13.3	△ 4.7	△ 30.5

(注)1. 自動車等は、自動車、自動車の部分品、二輪自動車の合計。

2. 資料出所：財務省資料より金属労協政策企画局で作成。

\* 消費者物価上昇率（総合）は、2020年10月以降、前年比マイナスで推移しているが、マイナス幅は縮小してきている。2021年2月は、都区部のデータから算出した推計値でマイナス0.3%となっている。

消費者物価の動向

(2015年=100・%)

月	総合				生鮮食品を除く総合				持家の帰属家賃を除く総合			
	指数		前年比上昇率		指数		前年比上昇率		指数		前年比上昇率	
	19年度	20年度	19年度	20年度	19年度	20年度	19年度	20年度	19年度	20年度	19年度	20年度
4月	101.8	101.9	0.9	0.1	101.8	101.6	0.9	△ 0.2	102.2	102.3	1.0	0.1
5	101.8	101.8	0.7	0.1	101.8	101.6	0.8	△ 0.2	102.2	102.3	0.9	0.0
6	101.6	101.7	0.7	0.1	101.6	101.6	0.6	0.0	102.1	102.2	0.8	0.1
7	101.6	101.9	0.5	0.3	101.5	101.6	0.6	0.0	102.0	102.3	0.6	0.3
8	101.8	102.0	0.3	0.2	101.7	101.3	0.5	△ 0.4	102.3	102.5	0.3	0.2
9	101.9	102.0	0.2	0.0	101.6	101.3	0.3	△ 0.3	102.4	102.5	0.3	0.0
10	102.2	101.8	0.2	△ 0.4	102.0	101.3	0.4	△ 0.7	102.8	102.3	0.3	△ 0.5
11	102.3	101.3	0.5	△ 0.9	102.2	101.2	0.5	△ 0.9	102.8	101.7	0.6	△ 1.1
12	102.3	101.1	0.8	△ 1.2	102.2	101.1	0.7	△ 1.0	102.8	101.4	0.9	△ 1.4
1	102.2	101.6	0.7	△ 0.6	102.0	101.4	0.8	△ 0.6	102.7	102.0	0.8	△ 0.7
2	102.0	101.7	0.4	△ 0.3	101.9	101.5	0.6	△ 0.4	102.4	102.1	0.5	△ 0.3
3	101.9		0.4		101.9		0.4		102.4		0.5	
4月～直近月	102.0	101.7		△ 0.2	101.8	101.4		△ 0.4	102.4	102.1		△ 0.3
年度平均	102.0		0.5		101.8		0.6		102.4		0.6	
具体的な用途	金属労協としての消費者物価の判断材料				日銀の消費者物価予測の対象指標				厚労省「毎月勤労統計」において、実質賃金を算出する際に用いる指標			
	政府の消費者物価予測の対象指標				2016年9月以降の日銀の消費者物価目標2%の対象指標							
	2016年9月までの日銀の消費者物価目標2%の対象指標				民間調査機関の消費者物価予測の平均を算出する際の対象指標							

(注)1. 直近月は、都区部のデータから算出した推計値。

2. 2020年8～12月の下段は、Go Toトラベルの影響を除いた上昇率。

3. 資料出所：総務省統計局資料より金属労協政策企画局で作成。

## おわびと訂正

\*2021年闘争関連経済諸指標（その2）において、工作機械受注総額の2020年、および2020年12月の前年比増加率について、確報値発表済みにもかかわらず、速報値のまま掲載してしまいました。おわびして訂正させていただきます。

	速報値	→	確報値
2020年	△26.8	→	△26.7
2020年12月	8.7	→	9.9

### 工作機械受注総額の動向

年・月	受注総額(億円)	前年比増加率(%)	2018年=100
2018年	18,158	10.3	100.0
19	12,299	△ 32.3	67.7
20	9,018	△ 26.7	49.7
20年1月	808	△ 35.6	53.4
2	772	△ 29.6	51.0
3	774	△ 40.7	51.2
4	561	△ 48.3	37.1
5	512	△ 52.8	33.8
6	672	△ 32.1	44.4
7	698	△ 31.1	46.1
8	680	△ 23.2	44.9
9	841	△ 15.0	55.6
10	822	△ 6.0	54.3
11	887	8.6	58.6
12	991	9.9	65.5
21年1月	886	9.7	58.6

(注)1. 2018年=100の数値は、月の金額を12倍して算出した簡易なもの。

2. 資料出所：日本工作機械工業会資料より金属労協政策企画局で作成。

以 上